

おめでとう

2025

No. 136

令和7年2月発行



令和6年度 二十歳を祝う会



を推進するための 分析機器の購入など

一般会計補正 1億8,877万円

12月定例会開催

12月定例会は、10日から13日までの4日間の会期で開かれました。
内容は、村長提出案件15件（条例改正6件、補正予算5件、人事案件1件、村道路線廃止1件、村道路線認定1件、その他1件）および議員発議1件、合わせて16件が提出され、審議した結果、原案どおり可決しました。請願は1件提出され、審査結果は4ページのとおりでです。

令和6年度 12月補正予算

会計名		補正額	総額
一般会計		1億8,877万円	53億4,845万円
国民健康保険特別会計		4,150万円	8億8,513万円
介護保険特別会計		4,287万円	9億2,878万円
水道事業会計	(収益的支出)	95万円	1億6,959万円
農業集落排水事業会計	(収益的支出)	11万円	1億2,876万円

12月補正予算 主なもの

○ コミュニティ施設整備事業補助金	120万円
○ 来て「おおたまむら」住宅取得支援事業補助金	260万円
○ 野内与吉顕彰プレート制作実行委員会運営補助金	150万円
○ 防犯対策に要する経費	68万円
○ 社会福祉協議会に要する経費	71万円
○ 子ども・子育て支援に要する経費	927万円
○ 骨髄移植ドナー支援事業助成金	14万円
○ 米食味等分析機器の購入	523万円
○ 農業機械等共同利用等整備事業補助金	324万円
○ ふくしま森林再生事業委託料	568万円
○ 堆肥センター指定管理業務委託料	277万円
○ 道路維持に要する経費	1,400万円
○ 大山小学校照明LED化改修工事設計業務委託料	530万円
○ 本宮方部学校給食センター協議会運営負担金	108万円

村産米のブランド化 米食味等



12月定例会 議決結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第76号	大玉村議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第77号	村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第78号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第79号	大玉村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第80号	大玉村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第81号	職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第82号	令和6年度大玉村一般会計補正予算について	原案可決
議案第83号	令和6年度大玉村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第84号	令和6年度大玉村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第85号	令和6年度大玉村水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第86号	令和6年度大玉村農業集落排水事業会計補正予算について	原案可決
議案第87号	土地の取得について	原案可決
議案第88号	村道路線の廃止について	原案可決
議案第89号	村道路線の認定について	原案可決
議案第90号	大玉村監査委員の選任について	同 意
議員発議第7号	最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書について	原案可決

議会が注目する補正予算

米食味等分析機器の購入

補正額523万円

問

どこに設置し、誰が使用できるのか。分析する場合は費用がかかるのか。

答

農業振興公社に設置を予定している。村民であれば誰でも無料で使用できるようにしたいと考えている。

人事案件

大玉村監査委員の選任の同意

現職の甲野藤健一氏（大山字上ノ台）の再任について同意した。任期は、令和7年1月21日から令和11年1月20日までの4年間。

12月に提出された請願

件名	提出者	紹介議員	付託委員会	審査結果
「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の提出を求める請願書	二本松市亀谷 二本松地方労働組合総連合 議長 佐原成典	須藤 軍蔵	産業厚生	採 択

議員発議 意見書1件を提出

意見書	提出先
最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書	内閣総理大臣、厚生労働大臣、 中央最低賃金審議会会長

※意見書とは…地方公共団体の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめたもの。地方自治法第99条には、「地方自治体の議会は、当該普通公共団体の公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる」と規定されている。具体的には、議員が発議して本会議にはかり、議長名で関係機関に提出する。



12月定例会では12日、13日の2日間にわたり、8人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁を要約した内容は、質問順に5ページから12ページです。

すずき やすひろ 鈴木 康広	1. 押山村長の4期目の考えは	5ページ
すどう ぐんぞう 須藤 軍蔵	1. 高齢者の暮らしの安心安全のために 2. 財政の見通しと村政運営は	6ページ
わたなべ けいこ 渡邊 啓子	1. 高齢期を安心して暮らせる支援の充実を 2. ごみの減量化と資源化の推進を	7ページ
わたなべ はつじ 渡邊 初治	1. アットホームおおたまの有効活用は 2. 高齢者の健康づくりの支援を	8ページ
たてした けんいち 館下 憲一	1. 農家の経営安定の対策は 2. 子どもの読書活動の推進を	9ページ
たけだ えつこ 武田 悦子	1. 村民の福祉向上への取り組みは 2. 空き家対策の充実を	10ページ
すがはら たかこ 菅原 貴子	1. 役場庁舎にエレベーターの設置を 2. コンビニでも住民票などを取得できるように	11ページ
さわら さゆり 佐原佐百合	1. 国際交流推進の展望は 2. 地域コミュニティを守り育てるために	12ページ

※一般質問とは…議員が村行財政全般にわたって、村に対し説明を求めまたは所信をたずねること。大玉村議会の一般質問は、一人30分以内で、答弁時間は含まない。

一
般
質
問
ここが聞きたい！
8人の議員が登壇

押山村長の4期目の考えは

質問趣旨

今までの重要政策は。今後の方針と4期目に向けての考えを伺う。

鈴木 康広 議員



鈴木 就任から3期目11年間の重要施策を伺う。

村長 就任直後から原発事故の混乱の中、除染を進め、令和4年の春には収束宣言を行うことができたが、まだ残る農畜産物の風評被害に今後も取り組んでいきたい。

村の基幹産業は農業であり、農業を守ることが村の財産である景観を守ることも重要。持続可能な農業の支援は、農業機械購入の補助や直売所の再整備、村づくり株式会社設立、農業振興公社の立ち上げなどに取り組んできた。他に先駆けて、大規模太陽光発電施設

を実質的に規制する条例を制定した。子どもたちの学びを育てるために、幼稚園の3年保育を実現し、保育所は給食費も含めた保育料の完全無償化を実施してきた。台湾の大竹国民中

学と大玉中は姉妹校を締結し、中学生が相互に訪問することで国際感覚の醸成を図ってきた。高齢者を中心とした交通弱者の交通手段を確保するためにデマンドタクシーを運行し、通勤通学バスは大山地区の実証試験運行に向けて準備を進めているところである。

鈴木 これからの方針を伺う。

村長 住んで良かったと思える村が最大の目標である。人は活力の源であり、人口減少は最小限にとどめなければならぬが、将来を見据えると現状の人口維持と産業構造には限界があり、新たな財源と雇用機会の創出、企業誘致が必要と強く感じた。そこで総合的に勘案し、スマートインターチェンジが最も有



効な手段であると至った。令和3年から誘致を進めてきて、9月に国の直轄調査に箇所づけされ、事業化に向けて進めている。

これに併せて、都市計画マスタープランの関連で立地適正化計画を2年かけて策定してきた。この計画により財源の見通しがついたので、かねてより計画していた子育て支援センターの設計業務や事業化に着手していきたい。また、交流人口の拡大や農業振興、観光農業の推進は、直売所



(仮称)大玉スマートインターチェンジ整備促進協議会決起大会 (12月21日)

をはじめとする産業振興センターがさらに村の結節点として拡充できるような施設を検討していきたい。これらの事業には財源を確保し、財政の健全性を最優先に村政執行に当たっていききたい。

鈴木 4期目に向けての決意を伺う。

村長 取り組んでいる事業を継続し、今後の中長期のビジョンを確立して事業基盤を確固たるものとするため、さらに4年間、村長として責務を務めさせていただければと考えている。

高齢者の暮らしの 安心安全のために

質問趣旨

住み慣れた地域で暮らし続けるために、医療や福祉の役割がより重要になる。

**65歳以上の方などを対象に
新型コロナウイルスの
定期接種を実施しています。**

新型コロナウイルス感染症とワクチンについて

- 新型コロナウイルスによって重症化する割合は、65歳以上で高く、重症化しやすいため年代の差及びこの傾向に近く一定の重症化率を有するから対象に10月から定期接種を実施しています。
- 今年度は従来のワクチンに加え新たに追加したワクチンを使用します。
- ※1.接種対象年齢は異なります。

接種対象者

- 1 65歳以上の方
- 2 60～64歳で
心臓や腎臓、呼吸器の病状に罹患
歴があり医師の判断のうえ接種を推奨
に指定される方。
- 3 60～64歳で
ヒト免疫不全ウイルスによる免疫
抑制状態の既往があり日常生活
が支えられず日常生活が困難な方。

接種できる期間 **10月1日～翌年3月31日**

接種できるワクチン

定期接種では、以下のメーカーのワクチンも接種できます。自治体や医療機関によって接種できるワクチンが異なる場合があります。詳細は、お住まいの市町村にお問い合わせください。

定期接種では、以下のメーカーのワクチンも接種できます。※一部不可

ファイザー製、塩化ナトリウム二重炭酸ナトリウム緩衝液を含むワクチン	葛蘭スクリップワクチン
塩化ナトリウム緩衝液を含むワクチン	葛蘭スクリップワクチン

定期接種を受ける方法・費用

- 定期接種はお住まいの市町村の指定した接種会場で行われます。
- 接種できる曜日や時間については詳細は、お住まいの市町村にお問い合わせください。

厚生労働省



須藤 軍蔵 議員

須藤 10月から始まった高齢者などを対象とした新型コロナウイルスワクチンの定期接種の状況と周知の方法は。

住民福祉部長 10月末時点で65歳以上の接種者は101名、高齢者の約4%である。村のホームページや広報紙、各戸配布文書、防災行政無線で案内している。見やすいチラシを検討し、今後も周知に努めたい。

須藤 生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）とは。

住民福祉部長 10月から活動を始めており、地域のニーズを掘り起こし、住み慣れた地域で高齢者が安心して暮らし続けられるよう関係機関と協力し、地域の課題解決に向けて取り組みを進めている。

財政の見通しと村政運営は

質問趣旨

健全な財政運営と国の交付金の活用により村の実情に応じた事業展開を。

須藤 各種基金と地方債の見通しは。

総務部長 基金は、前年度並みに確保できるのではないかと思う。取り崩し額以上に積み増しをしてきた。平成25年度と令和5年度の基金残高を比較すると、財政調整基金が6億343万7千円の増、減債基金が1億5673万1千円の増、令和元年に役場庁舎建設基金から名称を変更した公共施設整備基金が1億4523万円の増、災害対策基金が5928万円の増である。地方債は3億6564万2千円の減で、借金は減っている。

須藤 新年度の財政の見通しを伺う。

総務部長 国が主体的に進める事業は、全額国費で地方の負担が伴わない方策を期待している。長引く物価高騰の影響があるが、行政サービスの質を落とすことのないように事業の取捨選択を行い、財政健全の維持に努めていきたい。

須藤 国の新たな「地方経済生活環境創生活付金」は交通弱者の支援や地域資源を活用した特産品開発に役立つ可能性がある。活用を検討しているか伺う。

総務部長 国から詳細が公表され次第、活用できるものがあれば検討したい。



持続可能な村づくりを

高齢期を安心して暮らせる支援の充実を

質問趣旨

1人暮らし高齢者や老々世帯が増えている。高齢期を住み慣れた地域で安心して暮らすためにできることは。

わたなべけいこ
渡邊啓子議員



渡邊 1人暮らし高齢者や老々世帯の数と世帯に占める割合は。

住民福祉部長 10月末現在で1人暮らし高齢者世帯は198世帯で6・2%、老々世帯は283世帯で8・8%である。

渡邊 高齢者自動車運転免許証自主返納者にデマンドタクシー券を交付しているが、デマンドタクシー券かタクシー券のどちらかを選べるようにできないか。

住民福祉部長 デマンドタクシーは、AIを導入した予約配車システムを12月17日に始め

る予定であり、当面はデマンドタクシー券を交付していきたい。

渡邊 後期高齢者にタクシー券を交付できないか。

住民福祉部長 交付を検討する際には、デマンドタクシー券で考えたい。

渡邊 介護を担う人材が不足している。訪問介護員の資格取得費用の一部を村で補助できないか。

住民福祉部長 助成を行っている自治体を調査研究し、検討していきたい。



A | 予約が導入されたデマンドタクシー

ごみの減量化と資源化の推進を

質問趣旨

暮らしの中で発生するごみの量を少しでも減らすためにできることは何か。

渡邊 村では生ごみ処理機等の購入費補助を行っている。これまでの実績を伺う。

環境保全課長 令和4年度からの実績は、電動式生ごみ処理機屋内型が14件、生ごみ処理容器屋内型が2件、屋外型1件である。

渡邊 役場裏のごみステーションは、収集日の朝に混雑し危険であり、以前にも対策を求めている。ごみの量に変化はあるか。

産業建設部長 大きな増減なく推移している。各地区のごみステーションを利用するよう呼びかける掲示をし、啓発を行っている。

渡邊 県内各地で、ごみの減量化に力を入れている。村の取り組みは。

産業建設部長 村のごみの排出量は、国や県の平均値を下回っている。ごみの分別も19種類と県内では最も細分化されており、リサイクル率は県の目標値を上回っている。今後、各地区のサロンやイベント等で周知を行う等、ごみの資源化や排出量の減量化を進めていきたい。

渡邊 「福島県環境アプリ」の活用を広く周知して、環境への意識向上を図れないか。

産業建設部長 安達地方広域行政組合のホームページと併せて周知していきたい。



アットホームおおたまの有効活用は

質問趣旨

アットホームおおたまの営業形態が変更された。
アットホームおおたまの多角的な活用を検討できないか。



わたなべはつじ
渡邊初治議員

渡邊 アットホームおおたまの厨房を加工場として、村民が利用できないか。

産業建設部長 11

月から昼の宴会が始まり、1月からは夜の宴会の営業を開始する計画であり、配膳や片付けするのに厨房は必要である。自ら加工所整備をした生産者との公平性を図る上でも用途変更は考えていない。

渡邊 アットホームおおたまを活用し、高齢者生きがいデイサービスを行う考えは。

産業建設部長 設置者

である村、管理者、事業者、それぞれの立場で協議した上で判断していきたい。



多くの利用が期待されるアットホームおおたま

質問趣旨

高齢者の健康づくりの支援を

大玉村は健康長寿の村づくりを長年推進している。
高齢者が自立した生活を送るための支援や取り組みを伺う。

渡邊 1人暮らし高齢者と老々世帯の自立した生活を支援する事業の内容を伺う。

住民福祉部長 自宅に

訪問介護員が調理や清掃などを行う軽度生活援助事業やごみの搬出が困難な高齢者等世帯を支援するごみ分別及び搬出事業、1人暮らし高齢者世帯や老々世帯の生活状況を確認する事業、通院の送迎を行う外出支援事業などがある。

渡邊 生活支援事業を

利用する1人暮らし高齢者と老々世帯の数は。
健康福祉課長 1人暮らし高齢者世帯が30世帯で、老々世帯が5世帯である。

渡邊 どのように支援

住民福祉部長 民生委

員や地域包括支援センターの職員が訪問して支援が必要と判断した場合などに、村の担当課につないでいる。

渡邊 健康長寿を進め

るために、食生活改善や認知症予防などの健康講演会を開催できないか。

住民福祉部長 健康長

寿推進村民会議で協議し、介護や認知症の予防を含めて総合的に事業を進めていきたい。



野菜の摂取量を確認して食生活改善を

農家の経営安定の対策は

質問趣旨

米価は高値であるが、資材等の物価高騰に苦慮する農家の経営が安定する対策を伺う。

たて
した
けん
いち
館下憲一
議員



館下 大玉産米で所得安定を図るには。

産業建設部長 良食味

米の産地としてブランド化を図り、所得の安定につなげていきたい。

館下 ブランド化をPRする組織と事業の内容を伺う。

産業建設部長 大玉村

産米ブランド化推進委員会を中心に進めている。大玉村産米の名称を募集している。次年度は、一定の指標によるフラッグシップ米に取り組む生産者を募集し、収穫した米の発表会を行う。村産米の良食味の特徴などを情報発信していきたい。

館下 安定した経営を支える担い手の確保や農地の集積状況を伺う。

産業建設部長

安達地域合同就職相談会や新規就農者募集イベント等を通して、新規就農者確保に努めている。地域計画の説明



ブランド化を目指す大玉産米

会を開催し、地域農業の担い手の合意形成を図り、集積化を進めたい。

館下 村長に4期目に向けた農政の方向性を伺う。

村長 農業は村の基幹

産業であり、他の自治体に負けない支援をしている。国は農地保全と食料自給率向上を掲げているが、担い手不足で耕作放棄地が増えている。農業をしっかりと支えていく方策を進めていきたい。

子どもの読書活動の推進を

質問趣旨

第2次大玉村子ども読書活動推進計画の取り組みを伺う。

館下 子どもの読書活動推進の取り組みを伺う。

生涯学習課長 学校司

書による読書活動の推進や学校の図書室、ふさとホールでの図書整備、乳幼児健診におけるブックスタートやはなし会の開催、移動図書館の運行などの事業がある。

館下 小学校への移動

図書館運行の利用状況を伺う。移動図書館車は38年経過しているが運行に問題はないのか。

生涯学習課長

令和5年度は、大玉小学校が750人で1501冊、玉井小学校が870人で1631冊である。6年度は10月末で、大玉小学校が535人で1186冊、玉井小

校が438人で861冊である。車両は安全に運行しているが、車両の更新を検討したい。

館下 大人が読書する

姿を子どもに見せることで、子どもの読書活動が高まる。大人も利用できる図書館が必要ではないか。村の考えを伺う。

村長 現時点では、

独立した図書館は厳しいと感じている。これから建設を予定している子育て支援センターの書架を大きくし、図書スペースをしっかりと作っていきたい。



更新を待つ移動図書館車

村民の福祉向上への取り組みは

質問趣旨

村民の抱える課題解決に向けて村が行っていること、これらを充実させていくことは何か。



武田悦子 議員

住民福祉部長 地域のサロンや元気づくり体操、頭と体の健康倶楽部などがある。
武田 事業の効果を具体的に把握できているのか。また、期間を限って開催している事業もあるが年間を通して展開できないか。



いろいろな事業に参加して介護予防を

住民福祉部長 1人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加している。見守りや声かけなど地域での支え合いや生活支援の充実、地域コミュニティの希薄化にどのように対応していくかが課題である。
武田 認知症予防事業として行われているものは。

武田 地域福祉計画の策定に向けてアンケートや関係団体にヒアリング、地域座談会が行われたが、見えてきた課題は。

えていないが、参加者のアンケートから効果を感じている。健康長寿村民推進会議などで各事業の今後の展開を検討したい。
武田 「障がいのある人もない人も共に生きる大玉村づくり条例」が制定されて2年が過ぎたが、村民が理解するための取り組みは。
住民福祉部長 村ホームページで周知してきしたが、具体的な事例も含めて周知しなければならぬと考えている。

総務部長 令和元年から5件の登録があった。空き家は所有者が管理するものだが、所有者が適正に管理できる仕

武田 令和2年に策定された大玉村空き家対策計画では空き家の件数が65件だが、その後の調査は行われているのか。計画の最終年度であるが、次の計画策定の予定は。
総務部長 追加調査はしていないが、今後は住宅地図業者のデータの活用や現地調査を予定している。今年度中に次年度以降の計画を策定する予定である。

武田 空き家バンクの活用状況は。空き家が放置され、近隣に迷惑をかけてしまう場合もある。考えを伺う。

空き家対策の充実を

質問趣旨

空き家の問題は全国的にも大きな問題となっている。村の空き家対策はどのように行われているのか。



武田 空き家の改修や取り壊しには大変な費用がかかる。改修の補助内容を伺う。また、解体には補助がないが補助制度をつくる考えはないか。
産業建設部長 改修補助は、移住者もしくは移住者に空き家を提供

組みの検討が必要である。
武田 空き家の改修や取り壊しには大変な費用がかかる。改修の補助内容を伺う。また、解体には補助がないが補助制度をつくる考えはないか。

する所有者が行う場合に補助率2分の1、最大100万円を助成しており、村内事業者を利用した場合は10万円を加算し助成している。管理が不十分な空き家を抑制・解消し、生活環境の保全を図るために解体の補助の創設を検討していきたい。

役場庁舎にエレベーターの設置を

質問趣旨

高齢者や障がい者などに配慮し、エレベーターの設置をできないか。

菅原 貴子 議員



エレベーターの設置を望む

菅原 昭和36年建設の役場庁舎は63年が経過しているが、建て替えの計画は。

総務部長 村の公共施設は修繕等を行いながら利用できるだけ長く利用していく方針である。

平成24年度に約1億5000万円を投じて補強や修繕等の改修工事を行ったので、現時点において建て替えの計画はない。

菅原 庁舎にエレベーターがないことは不便である。エレベーター

が必要だという声が聞かれる。ホームエレベーターや手すりに付けるイス型昇降機等を設置できないか。

総務部長 役場庁舎の構造上の問題で設置を断念した経緯がある。

要望があることから再度建築士による検討をするが、設置には問題が多いと考えている。

コンビニでも住民票などを

取得できるように

質問趣旨

相続登記が義務化されたことにより、必要な戸籍謄本、印鑑証明書などを取得しやすいようにできないか。

菅原 住民票などが必

要な際に、仕事などの都合で役場に来られない方もいる。住民の利便性向上のために、コンビニでの取得を可能にできないか。デジタル田園都市国家構想交付金や特別交付税があるうちに導入できないか。

住民福祉部長 導入す

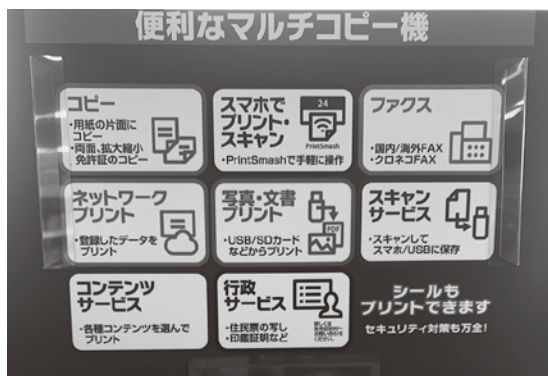
るためには、システムの改修や連携サーバーの構築費などの初期導入費、連携サーバーの年間保守料、システムの利用料、委託料などの運営経費がかかるなどにより導入に至っていない。

菅原 県内では、半分

以上の村がコンビニ交付を行っている。村の考えを伺う。

住民福祉部長 休日や

夜間に取得が可能であるコンビニ交付のメリットも承知しており、今後も検討を進めていきたい。



待たれるコンビニでの行政サービス

国際交流推進の展望は

さ
わ
ら
さ
ゆ
り

佐原 佐百合 議員



質問趣旨

異文化理解と郷土愛を育むため、マチュピチュ村との交流をさらに深めることが期待される。

佐原 マチュピチュ村との友好都市締結10周年記念式典で、平成30年当時中学生でマチュピチュ村訪問団に参加した3名が7年間経過した思いを発表した。感想を伺う。

村長 中学生の多感な時期にマチュピチュ遺跡を訪問し、異文化に触れて人生観が変わったと聞いて、意義のある効果ある事業だったと感じている。

教育長 マチュピチュ村を訪れて、その後の人生の生き方や考え方が

に影響を受けたと生の声を聴くことができて感動した。実際に体験して学ぶことが本物の学びであると再確認する機会になった。

佐原 中学生とマチュピチュ村との今後の交流は。

村長 マチュピチュ村長から子どもたちの相互交流の提案があった。Zoomなどを活用し、子どもたちの交流を進めていきたい。関係機関の補助金などの財源の確保に努め、子どもたちの派遣を検討していきたい。



マチュピチュ村との友好都市締結10周年記念式典（11月22日）

地域コミュニティを守り

育てるために

質問趣旨

人口が増加する一方で、自治会（組）に入らない世帯が増加している。対策が必要ではないか。

佐原 村内の組数、加入世帯数、加入率は。

政策推進課長 11月末現在の村内の組数は106組、加入世帯数は2184世帯で、加入率は68・2%である。

ただし、世帯分離などにより実際の加入率はもう少し高いと想定される。

しない場合、既存のソリューションを利用するには組への加入を指導している。

佐原 組加入の判断を助けるために他の自治体のような「自治会加入ハンドブック」を作成することはできないか。

総務部長 調査研究を行い、作成の有無を検討したい。組への加入率増加につながる方策も検討していきたい。

佐原 アパートの管理者や住宅団地の事業者に対して、ごみステーションの設置だけでなく、組への加入を促進する協力をお願いできないか。

産業建設部長 アパートは入居者の出入りが多く、管理者に組づくりまで指導するのは難しい。管理者や事業者が経費増加を理由にごみステーションを設置



地域の絆を深める伝統行事



所管事務調査

10月21日(月)にDXの取り組みや(仮称)大玉村子育て支援センター等に関する調査をしました。

研修

11月8日(金)には西会津町でDXの取り組みについて調査しました。



西会津町 (11月8日)

西会津町デジタル戦略

地域課題を解決するためにデジタル技術を活用し、快適で便利な暮らしづくり等に取り組むことを目的に令和3年3月に策定されま

した。AIオンデマンドバスの運行やデジタルによる相談の開催をしています。

AIオンデマンドバス

令和3年11月に導入し、ワゴン車9台で平日は7便、休日は3便から4便を運行しています。207カ所のバス停に加え、100カ所のパーチャルバス停を設置し、自宅により近い場所から乗り降りが可能です。時刻表にある運行時間以外でも車両や座席に空きがあれば予約が可能であると説明を受けました。

デジタルによる相談

SNSの利用やスマートフォンの設定などの相談だけでなく、相談を通して地域課題の発掘も目的としています。まちの中心部の空き店舗を改修した施設において毎週火曜日開催しています。

委員会の意見

AIによるデマンド

タクシー予約配車システムは、今後の本格運行に向けて高齢者が安心して利用できるように講習会の開催やサポート体制を確立し、誰もが簡単に利用できるような周知に努めてほしいです。

研修

10月17日(木)に茨城県美浦村で「子育て支援の機能を併せもつた住民交流施設」と「美浦村の生涯学習」に関しての研修を行いました。



美浦村 (10月17日)

地域交流館

みほふれ愛プラザ

平成29年3月にオープンした施設で、子育て支援センター、多世代が交流できるスペース、地域産品直売所の3つの機能を備えています。



子育て支援センター (10月17日)

施設内には、子どもや保護者に考慮したさまざまな工夫が見られました。子どもの背丈に合わせた高さの異なるトイレや洗面台、子どもの手が届かないように設けられた収納スペースの取っ手、女性の目線の高さに合わせた案内、楽しい雰囲気

になる壁紙などの工夫は実施設計の段階で子育て世代の役場職員や子育て支援センターを利用する保護者の意見を反映したものです。机や椅子、本棚などには県産木材が使用されており、温かみのある空間がつけられています。利用時にはカードを使用して扉を開け、関係者以外の入館を防ぐことで安心して遊べる環境が整えられています。多世代が交流できるサロンや研修室もあり、地域農産物を使った食育や郷土料理の講習が行われ、村の魅力を発信する場となっています。

委員会の意見

美浦村のように実施設計段階から住民の意見を反映させる手法を取り入れることで、安全で利用しやすい施設の建設に役立つと感じました。



所管事務調査

10月8日(火)に道路の維持管理に関する調査を行い、建設課と二本松土木事務所から話を伺いました。

村道の維持管理

建設課

道路の修繕が必要な箇所情報は、職員の道路パトロールや区長からの要望、住民からの通報などにより収集し、対応しています。

主要村道約60線を対象に行った路面性状調査の結果をもとに、緊急性の高い箇所から優先的に修繕しています。

幹線道路は舗装の長寿命化や縁石・法面の防草対策などの予防保全の取り組みが必要となっています。

併せて、国の交付金や補助金を活用して、狭隘道路拡幅や交通安全対策などを進めたいと説明がありました。

県道の維持管理

二本松土木事務所

毎年、路面性状調査を実施し、ひび割れなどを数値化してランク付けを行い、悪いところから修繕しています。が、県道の道路要望は950件にのぼります。

地域ボランティアの協力による「うつくしまの道・サポート制度」を活用して道路の除草や清掃を実施していますが、作業が追い付かない状況にあります。



二本松土木事務所 (10月8日)

研修

10月17日(木)に茨城県河内町で調査を行いました。



河内町 (10月17日)

道路里親制度

5人以上の住民が所属する団体が自主的に行う町道の美化活動や清掃活動に補助制度があります。年4回以上の活動を行うことを条件に、500円以上1万円以下は3万円、1万円以上は5万円の補助金があります。

道路状況の収集方法

職員による道路パトロールや住民からの通報、さらには郵便局や生協と協定を結び情報

を収集しています。道路適正管理評価基準で優先順位を決定

5項目(緊急性・路面状況・整備の効果・経年加点・要望者加算)の評価基準を設け、客観的に評価する仕組みを取り入れ、修繕箇所の優先順位と整備時期を明確化しています。

研修

10月18日(金)には茨城県桜川市で調査を行いました。



桜川市 (10月18日)

道路の情報収集

道路の要望は基本的に区長を通して寄せられますが、電話やスマートフォンから通報

できる独自のシステム「桜川通報Voice」があります。

除草対策の工夫

除草に関する問い合わせは年々増えており、対応が追いつかない状況にあります。今年度から草が枯れる薬剤と成長を抑える薬剤を混合した除草剤を試験的に散布しています。

委員会の意見

スマートフォンを活用した情報収集は、道路情報に限らず、さまざまな情報を寄せていただくために有効だと考えます。さまざまな要望がある中で、道路修繕の要望は優先順位を明確化する仕組みが必要だと思います。

道路里親制度の小規模グループでもできるルールは、住民にとって参加しやすいと感じました。

令和9年度に開通予定の山北スマートインターチェンジ

神奈川県 山北町

面積 224.61km²



10月2日(水)に議会運営委員会と議会広報編集特別委員会が合同で山北町議会において研修をしました。

山北町は、神奈川県西端に位置し、山梨県と静岡県に隣接し、森林が90%を占めています。神奈川県民の「水がめ」の役割を担う三保ダムや丹沢湖、西丹沢の登山やキャンプなど自然を生かした観光の町には年間150万人が訪れ、足柄茶やみかんが特産品の町です。新東名高速道路の令和9年度の開通に併せて山北スマートインターチェンジの工事が進められています。

山北町議会では、石田議長、児玉広報広聴委員長、和田議運委員長から説明をいただきました。

広報広聴委員会の活動

山北町議会の広報広聴委員会は、議長を除く全議員が所属し、デ

ジタル班とアナログ班に分かれて活動しています。



山北町役場 (10月2日)

議会 YouTube チャンネル

議会 YouTube チャンネルを開設し、令和4年12月定例会から一般質問の録画を会期中に配信しています。動画の編集作業はデジタル班の議員が行っています。

おしゃべりカフェ

アナログ班は、隔月の20日に町民が集いやすい駅前のお店やスパーの駐車場などで行

大玉村議会 村民と議会の懇談会

日時 2月12日(水) 昼 午前10時～
夜 午後6時30分～
会場 大玉村農村環境改善センター

「これからの村づくりを考える」

1. みんなで応援 安心して子育てできる村
2. みんなで守る 地域の道路
3. その他

- ※ 4月の懇談会で議論したことがどう進んだかについても報告します。
- ※ 改善センターまでの移動手段がなくて困っているという方の送迎をします。
- ※ お子さんを連れて参加する場合は、1階でお子さんを預かることもできます。



山北町議会の
おしゃべりカフェ

う「おしゃべりカフェ」のほか、各種団体への出張カフェを開催しています。カフェで出された意見は、ホームページや議会だよりに掲載し、議会から町に提言をしています。

研修の成果

山北町議会は、広報と広聴が連動しながら住民の声を聴き、反映させる議会を実践しています。本村議会も「村民と議会の懇談会」を開催し、村に政策提言を行っていますが、「おしゃべりカフェ」のように話を引き出しやすい手法を取り入れることや広報広聴委員会設置を検討する契機となりました。



令和6年度 二十歳を祝う会

後藤沙菜さん、下平亜未さん、佐野裕哉さん、古川尚人さん、栗原福さん、橋本里依さん、橋本詩乃さん
2024おおたま二十歳のつどい実行委員

「2024二十歳のつどい」実行委員の皆さんは、学校や仕事と両立しながら9月から二十歳のつどいの準備をしてきました。実行委員の皆さんは、参加者一人一人の中学生の頃の思い出を話しながらメッセージボードに名前を書いていた。



テーマ「瞬彩〜今を原点に彩やかな未来へ〜」に込めた思いは、**裕哉さん**「瞬彩」は、中学3年生の文化祭と同じで、思い出のあるテーマにしました。**尚人さん**これからの人生も一人一人が彩りある人生を送ってほしいという思いを込めて「今を原点に彩やかな未来へ」と付け加えました。**二十歳になって感じたことは****裕哉さん**責任と自由を感じつつも、開放感は大きいですね。自由に行動できる年齢は特別だと実感しています。

詩乃さんこれまで家族に支えられてきたので、お世話になった分のお返しをしていきたいです。**里依さん**自由が増えた一方で、責任も増えたと感じています。家族や友達への感謝の気持ちを持ちながら、成長していきたいです。

亜未さんはじめの年かな。これから社会に出る準備をする大切なタイミングだと感じています。**沙菜さん**10代とは違い、甘えられない年齢だと感じています。職場でも自分が教える立場に立つんだと思っています。



福さん新しい出会いや経験を通して、未知の世界に飛び込み、人と繋がれることに大人としての成長を実感しています。**尚人さん**お金の大切さを痛感しています。友達とお酒を飲みに行くことや今しかできないことを楽しみたいです。**これからやってみたいことは**看護師になるのが夢、将来は大玉村で働きたいな。お金を貯めて好きな車を買いたい。ゴルフも始めてみたい。1人暮らしをしたい。

ライブに行つて全国を巡りたい。デザイナーになって地域おこしがしたい。お嫁さんになりたい。全国の花火大会が見たい。

編集後記

令和7年がはじまり1カ月が過ぎました。今年も皆さんにとって希望あふれる年になっていることと思います。

今年は大山村と玉井村が合併し大玉村が誕生して70年、大玉中統合50年となります。さらにペルー共和国マチュピチュ村と友好都市を締結してから10年の節目の年に当たります。

この節目を契機にさらに飛躍する年になることを期待します。

(武田 悦子)

編集 議会広報編集特別委員会

- 委員長 渡邊 初治
- 副委員長 佐原佐百合
- 委員 館下 憲一
- 委員 菅原 貴子
- 委員 鈴木 康広
- 委員 武田 悦子

発行 大玉村議会 議長 押山 義則
福島県安達郡大玉村玉井字星内70
TEL0243-24-8103
FAX0243-48-3137